新専門医制度サブスペシャルティ領域研修に関する重要なお知らせ

日本リウマチ学会は日本専門医機構および日本内科学会と協調して、現在のリウマチ専門医を機構認定専門医に移行する形を目指して、新専門医制度サブスペシャルティ領域研修の準備を進めて参りました。

2021 年 7 月 26 日に開催された第 1 回リウマチ・膠原病領域専門医検討委員会で、リウマチ・膠原病領域専門医の専門医像が均一ではないこと、国民目線で分かりにくいこと、膠原病・リウマチ内科（領域）という名称は医道審議会医師分科会医師専門研修部会で決定された名称であり、法律に基づいている部会の決定なのでこれを使用すべきであること、リウマチ性疾患という名称ではなく、膠原病・リウマチ領域疾患などの名称が適切であること、機構専門医と学会専門医は別の考え方による専門医であることなどの重大なご指摘を頂きました。

これらの指摘を踏まえて、理事会で対応を検討した結果、基本領域が内科の専攻医は日本専門医機構専門医である「膠原病・リウマチ内科専門医」を取得し、基本領域が整形外科・小児科の専攻医はこれまで通り「学会専門医（リウマチ専門医)」を取得する方針となりました。日本リウマチ学会としては、今後も学会専門医制度を堅持していくことを確認いたしました。今回の方針変更に合わせて、整備基準および研修カリキュラムを改訂し、日本内科学会に提出いたしました。

主な改訂は、領域名を「膠原病・リウマチ内科領域」としたこと、それによって指導医も内科の指導医のみが新専門医制度のサブスペシャルティ領域研修の指導医となれること、また採用する専攻医の最小人数を 1 名とし、教育施設の名称を「基幹施設」、「連携施設」、「特別連携施設」と改めたことなどであります。

今後は、10 月中（予定）に日本専門医機構において各サブスペシャルティ領域の整備基準、研修カリキュラム、関連規則等が承認される予定です。承認され次第、専門研修認定教育施設での専攻医募集に必要な書類を日本リウマチ学会 website に掲載し、新リウマチ専門研修計画の新規申請と変更申請の受付を開始させて頂きます。

領域名を「膠原病・リウマチ内科領域」としたことにより、地域によっては、研修施設群を組み直す必要も出てくる可能性があります。そのような施設におかれましては、予め「膠原病・リウマチ内科領域整備基準」（内科学会提出バージョン）をご確認いただき、同整備基準に沿った研修計画作成のご準備をお願い申し上げます。

以上、ご不明な点がございましたら、学会事務局までお問い合わせください。

2021 年 9 月 1 日

一般社団法人 日本リウマチ学会
専門医制度委員会
教育施設認定委員会